



2008年12月10日

島根大学職員組合広報部

内線 2198, ダイヤルイン 32-6407

E-mail union-s@sula0043.soc.shimane-u.ac.jp



## 学長選挙候補適任者から公開質問状への回答

12月3日に2名の学長選挙候補者が公示されたのを受け、組合から両候補者に公開質問状を送りました。このたび両候補者から回答を頂きましたので、ここに公開いたします。

回答は、候補者から送付されたものをそのまま印刷してあります。また、公開質問状の質問項目は下記のとおりです。

### 質 問 項 目

1. 氏名
2. 国立大学法人全体の中で中教審による7つの機能分化と関連して島根 大学をどのように位置づけていますか。それを踏まえた島根大学の将来像をお聞かせください。
3. 日本全体の高等教育の中で、国立大学法人である島根大学は重要な位置を占めていると考えます。いまの日本の高等教育の現状についての認識をお聞かせください。また、学長に就任された場合、国立大学協会や地域との関連の中で、高等教育の発展にどのような貢献をなされるつもりかお聞かせください。
4. 第一期中期計画終了時(平成 21 年度)までに目的積立金をどのように使用するかお聞かせください。
5. 教員、職員ともに、多忙化や職務の多様化・複雑化などによって心身の不調を訴える者が増えています。この問題をどのように考え、どのように解決していかれるつもりかお聞かせください。
6. 島根大学における有期雇用職員の役割と待遇についてどのようにお考えですか？
7. 大学運営に際し、大学構成員の意見を広く取り入れることは重要と考えますが、構成員からの意見聴取について具体的な方策をお聞かせください。
8. その他、公表すべきご意見があればご自由にお書きください。